

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館406号室  
TEL: 03-3508-7231  
FAX: 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071  
茨城県日立市鹿島町1-11-13  
TEL: 0294-21-5522  
FAX: 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



2021年新春を迎えるにあたり、山田修東海村村長との特別対談を実施しました。昨年は県内でも新型コロナウイルス感染症の拡大により、東海村内に暮らす皆さまもこれまでとは違った生活様式を余儀なくされました。そこで、村内のコロナ対策状況と2021年の展望について語りました。

## 新型コロナウイルス感染症対策の状況について

**浅野** 昨年は新型コロナウイルス対策のため山田村長をはじめ村議会議員、村職員の皆さんが大変なご苦勞を重ねられてきた事に敬意を表します。国も医療提供体制の拡充や地方創生臨時交付金の交付、中小企業支援等に取り組んでいますが、いまだ収束には至っていません。これまでの村内状況や今後の対応策について教えてください。

**山田** まず村内における感染者の発生状況ですが、初めて確認されたのが、7月22日であり、9月11

日に確認された11例目まで断続的に続きました。その後しばらくは落ち着いていましたが、1月20日に12例目の感染者が確認され、12月17日時点で17例となっております。

特に、12月には、職員2名の感染が確認され、かなり緊張感が高まりましたが、拡大を防ぐことが出来ています。今や、いつ誰が感染しても不思議ではない状況ですので、慎重に冷静に対応してまいります。

対策は、「感染拡大防止」と「社会経済活動維持」の両面で行ってまいりました。前者においては、村民への積極的な情報提供と啓発活動が主体となりますが、私自身がYouTubeを使って直

接メッセージを伝えたり、広報誌や防災無線を使いながら感染防止対策の徹底を呼び掛けてまいりました。公共施設の利用制限についても、国や県のガイドライン等を参考にしながら、感染状況に合わせて対応してまいりました。

後者については、村民向けでは、水道料金の4～5月分の減免措置や子育て世帯への支援などを行い、事業者向けには、飲食店向けのテイクアウト・デリバリー支援や家賃等固定費の支援、感染防止対策への支援などを行ってまいりました。現在は、事業者を幅広く支援するとともに、村内の消費喚起を図る「とうかいI～MOの割引キャンペーン事業」を展開しているところです。

**浅野** コロナ不況がこれほど長引くということは、多くの住民が予想していなかったと思います。これからも地域経済を支えるための様々なアイデアを東海村から発信していただきたいと思います。私も国会の中では、地方の実情に合わせた施策をスピード感をもって実現していけるよう、臨時交付金の公平かつ妥当な追加交付を求めています。

## ポストコロナ時代を見据えた東海村の対応について

**浅野** 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、「三密」を回避しようと地方に転居したり、実家に戻る若い世代が多くなってきていると聞いています。民間企業においては、テレワークやリモート会議に代表されるようなデジタル化が急速に進んだ印象がありますが、一方、国や自治体におけるデジタル化についても、今後より一層推進していく必要があると感じています。東海村行政におけるデジタル化の将来像や今後の展望について教えてください。

**山田** 村でも、デジタル化は急務であると考えています。そこで、「とうかいまるごとデジタル化構想」というものを打ち出して、行政手続きや役場の仕事におけるデジタル化を推進していきます。村民向けには、来庁しなくても手続きが可能なオンライン申請を導入したり、窓口でのキャッシュレス化を

拡大して利便性の向上を図ります。

職員の仕事では、在宅でのモバイルワークやペーパーレス化を進め、働き方改革と生産性の向上を図ります。

さらに、デジタル社会への対応を見据えて、村民の皆さんがスマホなどのデジタル機器を使いこなせるような支援も行っていきます。

(下記参照)

東海村記者発表資料

令和2年11月30日(月)  
企画総務部企画総務課プロジェクト推進担当  
電話：029-202-1711(内線133)



『とうかいまるごとデジタル化構想』で東海村役場が変わります！

デジタルイノベーションという言葉があるように、近年、デジタル化やネットワークを介したICTは急速なスピードで進化・普及しており、大きな社会変革をもたらしつつあります。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、行政手続き・行政内部のデジタル化「働き方改革」「デジタル対応社会の実現」を実現するため、そのめざす姿と、実現に向けた4年間の(2021年度～2024年度)の取り組み内容(ロードマップ)を『とうかいまるごとデジタル化構想(略して「まるデジ」)』として策定いたしました。

※まるデジ構想の詳細・ロードマップについては、東海村公式HPで公開しています。QRコード⇒

**施策の概要**

**施策Ⅰ「スマートサービスの推進～行政手続きのデジタル化～」**

- I-① 来庁せずに行える手続きの拡大
- I-② ICT活用による利便性向上
- I-③ 速わない窓口へ

**施策Ⅱ「スマートワークの推進～ICT活用による働き方改革の推進～」**

- II-① 多様で柔軟な働き方の実現
- II-② ICT活用による生産性向上
- II-③ 業務改善による生産性向上

**施策Ⅲ「デジタル対応社会の実現～住民へのデジタル対応支援～」**

- III-① デジタル機器への理解促進
- III-② デジタル機器を使いこなす住民の増加

**実現時期 2024年度(第6年度)**

〇2024年度を期限として、3施策を推進し、7つの「レス」を実現！

〇デジタル庁やICT市場の動向に合わせて構想を適宜改定！

カウンターレス

ムープレス

ペーパーレス

タイムレス

ホーターレス

キャッシュレス

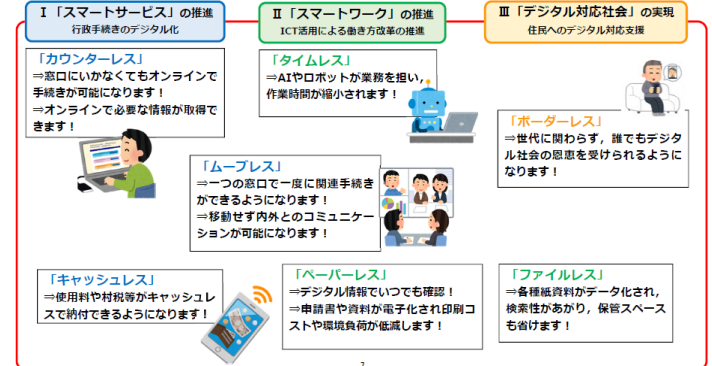
ファイルレス



まるデジ構想で実現したい未来

各課・全庁で抱える様々な課題・問題

実現したい未来 = 【住民の利便性向上と業務効率化】



**浅野** 行政のデジタル化を進める上での課題はたくさんありますが、その中には、デジタル化のメリットをいかに幅広い世代の皆さんに伝えて実際に利用していただくか、という課題があります。特に、高齢の方や障がいをお持ちの方々にも分け隔てなく利用できるためのソフト面の環境整備が非常に重要だと思います。国が定めるガイドラインは非常に抽象的な内容になる帰帰が強いため、自治体の中でぜひ具体的な方法を見つけていただき、他の地域にも横展開していただける事を期待したいと思います。

## 政府への要望と 国会への期待について

**浅野** 昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける様々な業界への対応に政府全体が追われました。東海村においても医療現場の支援や飲食割引など幅広い活動をしていましたが、これからもコロナ検査体制の強化やワクチン接種への対応、雇用・経済の回復、教育や福祉の下支えなど多くの課題が残されています。政府への要望や国会への期待について教えてください。

**山田** 政府に対しては、新型コロナへの対応を最優先としながらも、長期的な視点で、社会システムや社会構造を大きく転換していくような大胆な変革を進めてもらいたい。その中で、地方の価値を見出し、若い世代が活躍できるような環境を整えていただきたい。また、国会に対しては、将来を展望しながら、日本はどうあるべきか？今どうすべき？ということをしかりと議論していただきたい。国会論戦は、批判や責任問題ばかりに終始せず、次世代へメッセージが伝わるような議論が求められていると思います。



**浅野** 率直な意見を有難うございます。今のお話を聞いていてあることを思い出しました。IMF（国際通貨基金）が昨年公表した世界各国の経済成長に見通しで、アメリカや欧州、中国などはコロナ禍を乗り越えた後は5～8%台という高い経済成長が予想されているのに対し、日本は2.3%にとどまっています。このままでは日本が世界から置いていか

れるのではないかという強い危機感を感じました。

目前の課題としてのコロナは最優先事項ですが、一方で「その先」を見据えながら次世代への投資もしっかりと行っていく必要があると思います。特に、教育や医療などの分野については、これから個別最適化やオンライン化など、大きく発展していく有力分野だと思っています。



## 2021年の抱負

**浅野** 最後に、今年は延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。今年こそ新型コロナウイルス感染症の話題ばかりでなく、明るい話題もたくさん生まれる良い年にしていきたいものですが、今年一年間の目標や抱負があれば聞かせてください。

**山田** 今年は、丑年です。実は、私の干支であり年男となります。赤いちゃんちゃんこを着る年となりましたが、全く想像できません。いずれにしても、大きな節目の年となりますので、持続可能なまちづくりの実現を目指して、村政運営にあたってまいりたいと考えております。

本村の最大のトピックスは、「(仮称)歴史と未来の交流館」の開館です。開館は7月24日を予定していますので、多くの村民の方々にご来場いただけるようPRに努めてまいりたい。交流館は、「東海村の歴史と文化の発信拠点」であり、「子どもたちの体験や遊びを通じた活動拠点」です。

さらに、幅広い世代が交流し郷土愛を育み、賑わいをつくる場所でもあります。今後、本村のシンボリックな施設となるよう全力で取り組んでまいります。

昨年は、コロナ対応で、多くの施策が実現できませんでしたが、今年は、村民の皆さんが笑顔になれるような取り組みを積極的に進めてまいりたいと考えております。

**浅野** 山田村長がもう還暦を迎える年齢だったことには驚きました。今年は私も衆議院選挙を控えています。山田村長にとっても節目の1年となります。お互いに病気やケガには気をつけながら、まずはコロナ禍に苦しんでいる方々のため、一步ずつでも日々前進していけばと思いますので、引続き宜しくお願ひ申し上げます。本日は有難うございました。



## 今年も各級議員団が一致結束し、地域活性化を進めてまいります。



茨城県議会議員  
さいとう ひであき  
齋藤 英彰



茨城県議会議員  
たかやす ひろあき  
高安 博明



日立市議会議員  
あおき しゅんいち  
青木 俊一



日立市議会議員  
いとう けんや  
伊藤 健也



日立市議会議員  
すげがわ さとる  
助川 悟



日立市議会議員  
しらい あつし  
白石 敦



日立市議会議員  
かすや けい  
粕谷 圭



日立市議会議員  
ほりえ のりかず  
堀江 紀和



日立市議会議員  
とよだ しげる  
豊田 茂



高萩市議会議員  
おおあし こうじ  
大足 光司



北茨城市議会議員  
いまい みちえ  
今井 路江



北茨城市議会議員  
すずき やたろう  
鈴木 弥太郎



東海村議会議員  
おち たつや  
越智 辰哉



東海村議会議員  
みかみ おさむ  
三上 修

浅野さとし後援会は、**新規会員を募集しています!**

浅野さとしと一緒に、地域に寄り添い、明るい未来をつくらせていきたいと思います!

後援会入会をご希望の方は、氏名・ご住所・電話番号をTEL又はFAX、メールにてお知らせください。あらかじめ事務局から、会則・会費納入先などをご連絡させていただきます。

お申込み先⇒浅野さとし後援会 日立事務所

■ 広報板設置ご協力をお願い ■

ポスターを掲示していただける方を探しています。所有地(空地や畑など)やご自宅の壁などに設置していただける方がいらっしゃいましたら、浅野さとし後援会日立事務所までお気軽にご連絡ください。ご協力宜しくお願いいたします。

広報板大きさ 90cm×90cm

### 浅野さとし 略歴

▶ 1982年9月生まれ(38歳)、衆議院議員(1期)  
(株)日立製作所日立研究所研究員  
日立労組研究所支部執行委員  
大畠章宏 前衆議院議員秘書



SNSにて日々、情報発信中! 浅野さとしの活動をぜひご覧ください!



YouTube



Facebook



Instagram



Twitter



LINE

